

# **共助による地域除雪の手引き（平成21年度版）**

## **～安全・効率的な雪処理方策マニュアル～**

### **のポイント**

**平成22年3月**

**国土交通省 都市・地域整備局 地方振興課**

# 「共助による地域除雪」とは

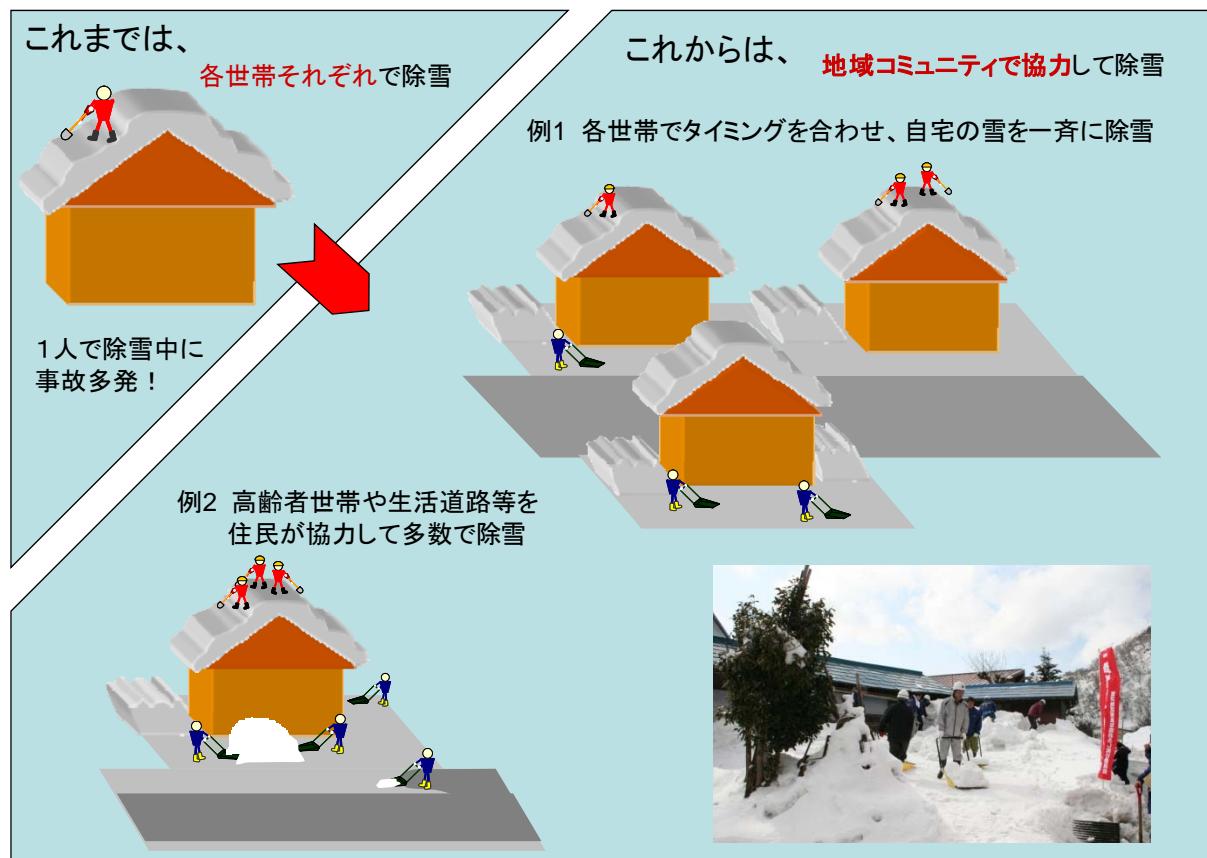
## ■ 「共助による地域除雪」とは

安全かつ効率的に雪処理を行うために、地域コミュニティ（自治会、町内会、集落等）において、手順やルールなどを定めた上で、住民（地域外の担い手含む）が協力しながら、時間を合わせて一緒に、

- 家屋及び家屋周辺
  - 歩道や生活道路などの公共空間
  - 公民館等の地域の共有施設
- などの除雪作業を行う取組です。

共助による地域除雪の主なねらいは、「除雪作業における安全性の向上」、「地域コミュニティにおける連帯感と防災力の向上」、「除雪作業における効率性の向上」の3つです。

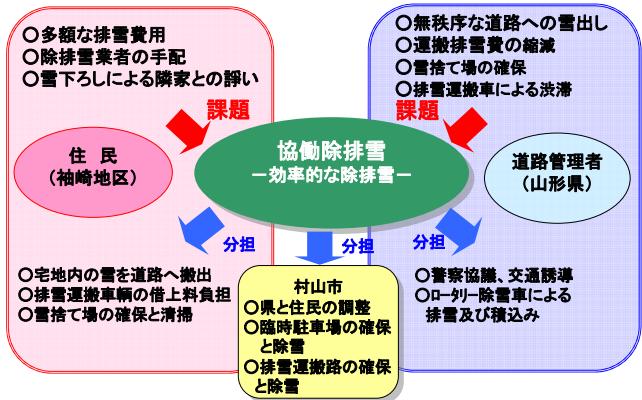
図 共助による地域除雪のイメージ



# 「共助による地域除雪」のポイント

## ■関係する主体が連携して実施体制をつくります

共助による地域除雪に取り組む場合は、実施するための体制づくりが不可欠です。連絡協議会のような組織を立ち上げるなど、市町村、自治会等の地域住民組織、NPO、道府県、社会福祉協議会などの関係する実施主体が適宜連携し、できるところから実施体制を構築していくことが必要です。



協働除排雪の連携体制 (村山市袖崎)

## ■安全管理係（安全に気を配る人）を設置します

作業当日の役割として、除雪作業中の事故発生を防ぎ、活動の安全性を確保するための「安全管理係」の配置が強く求められます。屋根からの転落防止のための命綱・ロープの使用やヘルメットの着用、はしごの固定等を指示・指導したり、除雪作業を見守り、作業中の人に声をかけて注意を促したり、活動場所を巡回して危険がないかを確認するなどして、事故の発生防止に努めます。



安全管理係による見守り (尾花沢市)

図 作業当日の役割・担当(例)

担当係	役 割
統括係	・全体の統括（決定、中止、変更の判断等）をする [自治会長等]
連絡係	・参加者に周知・連絡をする ・自力で雪処理ができない世帯の状況を把握する
道具係	・道具・備品・機器等を貸し出す
広報係	・マスコミの取材に対応する
<u>安全管理係</u>	・ <u>当日の安全管理（巡回等）を行う</u>
交通整理係	・交通整理・誘導をする
救急係	・事故発生時の救急救命や怪我の手当をする
後片付け係	・活動終了後の見まわりと後片付けをする
記録係	・活動の記録（写真撮影、アンケート等）をする

## ■安全装備を準備・着用します

除雪作業中の事故で最も多い原因は、屋根からの転落であり、事故を防ぐためには、安全帯、命綱（ロープ）、ヘルメットなどの安全装備の着用が望まれます。除雪作業でこれらを使用している住民は極めて少なく、自分で保有していない人が大半です。したがって共助による地域除雪のための共有品として、各地区でこれらの装備類を保有・保管し、各地の除雪活動の際に貸し出すなどの取組が期待されます。



## ■地区外からの担い手確保を検討・実施します

地区内では雪処理の担い手確保が困難な地域の場合、地区外から担い手を確保し、地域住民と一緒に除雪活動を行うことが望まれます。地区外からの担い手を受け入れる場合は、特に「事前の連絡」「除雪作業中の声かけ、見まもり」「地元の人との交流、会話、コミュニケーション」「けがや事故に備えた手当、救急の用意」「適切な作業・役割の配分」「作業場所までのアクセス、移動手段の確保」「安全に除雪作業するための技術的な指導」などが重要です。

## ■事故に備えて保険に加入します

万が一の事故に備え、実施主体では、保険会社と契約を結び、損害保険に加入しておく必要があります。地区外から広域的にボランティア等を受け入れる場合、市町村は道府県と協力するなどして、参加者の事故に備えて保険加入のルールを決めておく必要があります。実際の活動をみると、自治会活動保険、ボランティア活動保険（全国社会福祉協議会）、普通傷害保険（行事参加者傷害危険担保契約）などに加入しています。

## ■活動を継続するために様々な工夫をします



共助による地域除雪が単発的な活動で終わらずに継続・定着していくためには、参加者の意識や意欲を高めていくことが重要です。そのため、のぼり旗を立てたり、活動後に地域コミュニティで意見交換会や親睦会を開いたり、参加者同士が歓談・交流する機会を作ったり、過度な負担にならないように作業配分をしたり、参加者が無理なく参加できるような日時を設定したりするなどの仕掛けや工夫が効果的です。

# 「共助による地域除雪」の流れ

共助による地域除雪には、目的や活動内容、地域の状況等に応じて様々なやり方がありますが、基本的な流れ（手順）は次のとおりです。



# 期待される効果とは

## ■ 地域コミュニティにおける効果

- ①地域内、住民間の連帯感が向上し、地域の防災力が強化されます。
- ②雪処理の担い手が確保されます。
- ③地域における冬期道路交通の安全性が向上します。
- ④地域の雪問題を解決するための場（機会）が生まれます。

## ■ 各世帯における効果

- ①除雪作業中の事故を防止したり、被害を軽減します。
- ②家屋・玄関先や車庫の周辺など、敷地内の積雪による閉塞感を改善します。
- ③各世帯における防災力が向上します。
- ④大人数が協力することで、効率よく雪処理ができます。
- ⑤高齢者世帯等にとっては、雪処理の相談をするきっかけとなります。

## ■ 行政における効果

- ①雪害による犠牲者を防止します。
- ②冬期の道路空間を効率的に確保します。
- ③雪問題に対する住民の関心や主体意識が高まります。
- ④豪雪時における行政の対応力を確保します。

図 主体別にみた共助による地域除雪の効果

